

【報告事項】令和3年度上半期公民館等事業実施状況について

令和3年度は、昨年度からのコロナ禍にあって感染拡大防止対策を講じつつ各種事業を展開してきました。なお、緊急事態宣言が令和3年8月2日に発出され、その後、8月17日及び9月9日に期間の再延長がなされ、その結果、8月2日から9月30日までの60日間、緊急事態宣言下での公民館等の運営を行ったところです。この間、公民館等で以前から実施していた、新型コロナウイルス感染拡大防止対策は継続することとし、夜間開館については1時間短縮し午後8時までとして対応いたしました。

このような状況の中、「主催事業」「団体育成事業」「個人学習支援事業」「貸館事業」の4つを柱に事業を展開いたしました。なお、そうふけ公民館については、令和3年5月から大規模改修工事に着手したため事業の実施はありません。これらを踏まえまして、令和3年度上半期公民館等事業実施状況は次のとおりとなります。

《主催事業》

1. 中央公民館

当初計画（令和3年3月公運審）	変更点等
子ども対象事業	
1. 子ども科学教室	
2. ぷちシアター	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
3. ※創作講座	
4. ※手賀沼講座—自然と歴史—	・新型コロナウイルス感染防止対策から舟の運航が中止
大人対象事業	
1. いきいきカレッジ	
2. 防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつろう	
3. 健康体操～無理せず、楽しく、体を動かそう～	
4. ※創作講座	
5. ※手賀沼講座—自然と歴史—	・新型コロナウイルス感染防止対策のため5回を3回に変更

※「創作講座」及び「手賀沼講座」は、カリキュラムの中で子ども対象とする回又は大人対象とする回に分けているため、両対象事業に掲載している。

●子ども科学教室 ～地面すれすれグライダーを作ろう！～

事業区分	子ども対象事業
ねらい	身近な材料を使って科学の面白さや原理を学べる工作を行い、ものづくりの喜びや楽しさ、工作の仕方や技術などを学ぶ。
対象	小学4年生～6年生／定員12人

プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
ム	1	8月28日(土)	地面すれすれに飛ぶグライダーを作る	千葉市科学館職員	14人
講座を終えて	千葉市科学館の職員を講師に迎えて実施した。地面すれすれグライダーの諸材料は講師が持参。初めに、講師が実際に完成品を飛ばしてみせ、良く飛ぶ条件は「バランス」で、縦・横・そして全体のバランスをとって作成することが大事との説明があった。子どもたちも講師の指示通り丁寧に材料の切り取りや曲げなどを行っていた。作品完成後は廊下で2人ずつ飛ばして誰が一番遠くまで飛ぶか競争した。入賞者には講師からプレゼントがあり、子どもたちも張り切って競争していた。入賞者から作成のポイントを聞くと、正確に切ったこと・しっかり曲げたこと・しっかり留めたこと等を要因に挙げていた。 講師は2人とも小学校の教員出身ということで、講座の冒頭で、手品風の科学あそびをしてみせて子どもたちの緊張感を和らげたり、説明の方法や特に話し方など子どもたちを集中させる手法は素晴らしく、今後、子ども対象事業を開催するにあたり参考としていきたい。				

●ぶちシター

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	視聴覚教材を活用した事業として、対象区域の学童クラブに出張し、上映会を開催する。友達同士で楽しめる作品を提供することで、児童の学習交流の機会を提供し社会教育における視聴覚教育の振興を図る。				
対象	区域の学童クラブ2団体(木下・大森学童クラブ)				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
ム	1	8月	映画の上映会		

※新型コロナ感染拡大防止の観点から中止

●※創作講座「彩のあるくらし講座」

子ども工作教室～天然木と糸でかわいいストラップづくり

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	創作・工芸などの作品作りを通して作る喜びを体感しながら、手作りの作品で生活に彩りを添えること。 子どもたちが自然のものをを使った創作活動を通して作る喜びを体感することやそこに至る想像力、表現力などを養うことにより課題解決能力や豊かな人間性など「生きる力」を身に付けていくこと。				
対象	市内在住の小学生(親子参加可)/定員12人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
ム	1	8月3日(火)	ケヤキの枝に自分で選んだ可愛い糸を巻いて世界に一つだけのオリジナルストラップ作りをする。	枝道家・ウッド スタイリスト 茉本祈子	17人 (子11人 親6人)
講座を終えて	講師の模型を使った丁寧でわかりやすい説明もあり、子どもたち及び参加した保護者たちは、細かい作業を根気よく行い、笑顔で完成したストラップと写真撮影を行った。 約8割の子が追加して作品作りに取り組んだことやアンケート結果からも、子どもたちには創作の喜びを体感してもらえたと思われる。また、講座参加者は、ほとんどが親子で参加となったが親子で同一作業をする中でコミュニケーションも図られ、いろいろな意味で効果的であった。				

●手賀沼講座—自然と歴史— 手賀沼船上観察会(オープニング講座)

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	当該地区が手賀沼や利根川といった水辺と深いかわりの中で歴史を積み重ねてきた地域特性を踏まえ、「手賀沼」をキーワードとして地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解しふるさと意識を育みながら、これからのまちづくりについて考えてもらう機会をつくる。(手賀沼講座全体のねらい) 本講座は、講座全体のオープニングとして、夏休みを活用し親子で手賀沼流域の六軒川・弁天川を船で巡り、手賀沼の自然や手賀沼を活かした地域づくりについて親子で考えてもらう機会を提供する。				
対象	市内在住の小学生親子／定員 10 組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	9 月 18 日	親子で六軒川・弁天川を舟で巡り手賀沼流域の自然や歴史を学ぶ		

※新型コロナ感染拡大防止のための緊急事態宣言の発令により舟の運航が中止されたため

●いきいきカレッジ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	シニア世代が地域の歴史・健康な体づくり・創作活動など生きがいづくり・仲間づくりにつながるよう様々なジャンルを学ぶことにより、これからの人生を生き生き生活できることを目指す。				
対象	50歳以上の市民／定員 16 人 受講者 15 人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月19日(水)	知って得する生活習慣改善術	健康増進課職員	14人
	2	6月23日(水)	自力整体でこころもからだもリラックス	秋田美智子	12人
	3	7月21日(水)	安全・安心！防犯の知識	市民安全担当課長	12人
	4	9月15日(水)	知って安心！認知症予防！	高齢者福祉課職員	15人
	5	10月13日(水) ※予定	健康寿命をのばそう！ ～セルフチェックとセルフケア～	日野かおる	
	6	11月17日(水) ※予定	健康祈願！プレスレットづくり	茱本 祈子	
	7	12月15日(水) ※予定	木下河岸物語	印旛歴史民俗資料館職員	
講座を終えて	開講2年目を迎えた「いきいきカレッジ」。第1回と第2回は昨年と同様に健康をテーマに実施。「知って得する生活習慣改善術」では、健(検)診を受けて体の状態を知ること、日頃から生活習慣病に気を付けて予防することの大切さを、また「自力整体でこころもからだもリラックス」では、体は一生動かし続けるとの認識のもと、自分自身で体をほぐしたり温めたりする手法を用いて、身体のバランスを整える自力整体を学んだ。第3回「安全・安心 防犯の知識」では国・県・印西市の犯罪情勢について、侵入犯罪に強い地域コミュニティの大切さについて、侵入犯罪を防ぐポイントについてを、また第4回「知って安心！！認知症予防！」では保健師からは認知症の定義、普通の物忘れと認知症の物忘れの違い、認知症は誰もがなり得るもので、早期発見を可能にするのはお互いに気にかけてあげることが大切であ				

	ることを、また理学療法士からは座ってできる軽い運動(脳トレ含む)とウォーキングをするに当たってのポイント等を学んだ。 第5回は健康のまとめとして「健康寿命を延ばそう！～セルフチェックとセルフケア～」について、第6回は「健康祈願！プレスレットづくり」そして第7回は地域の歴史「木下河岸物語」を学び終了予定。
--	--

●防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつくろう

事業区分	大人対象事業				
ねらい	地球温暖化などにより異常気象が常態化する中、水害から身を守るためには、余裕をもって安全に避難するための的確な避難行動計画を作成することなどが重要である。 このようなことから、市のハザードマップ等から自分の住んでいる地域の災害リスクを知るとともに、家族が安全に避難するための避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成方法などを習得して災害に備える。				
対象	市内在住・在勤の方／定員16人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月16日(水)	市のハザードマップやマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を活用し、マイ・タイムラインのつくり方を学ぶ	市防災課職員	18人
講座を終えて	水害対策(マイ・タイムラインなど)の必要性について認識が深められ、また、具体的に何を準備していけばいいのかの理解が得られた。参加者からは、家族それぞれの避難行動をあらかじめ定めておく「わが家のマイ・タイムライン」を早速家族で作ってみたいとの声も多く上がり、具体的な災害対策のヒントを得たと思われる。 講座終了後、質疑応答の時間を設けたが、一昨年の台風等による長期化した停電、利根川の増水、土砂崩れによる避難所経験などが記憶に新しいこともあって活発で有意義な意見交換が行われた。 今後は、この取り組みを地域に広げていくことが必要で、特に一人暮らしの高齢者や障害を抱えた方など、災害時に地域の支援が必要な方への実践的な普及が望まれる。 なお、本講座は、防災課共催事業として利根川沿岸を対象区域に抱える本埜公民館(7/14)、小林公民館(8/25)でも実施した。				

●健康体操 ～無理せず、楽しく、体を動かそう～(前期コース・後期コース)

事業区分	大人対象事業				
ねらい	健康体操に取り組むことで健康寿命を延ばし、シニア世代の健康の維持・増進の一助とする。				
対象	50歳以上の市民／定員各20人 受講者数 前期コース15人・後期コース22人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	前期	6月16日(水) 6月30日(水) 7月14日(水)	3回コースでリズム運動、脳トレ、呼吸法、ストレッチ、筋トレ等で無理なく体を動かす	栄森 容子	14人 15人 13人

	後期	10月20日(水) 11月10日(水) 11月24日(水) ※予定	3回コースでリズム運動、脳トレ、呼吸法、ストレッチ、筋トレ等で無理なく体を動かす	栄森 容子	
講座を終えて	前期コースについては、第1回目は、まず初めに東洋医学の体操で呼吸、精神、身体の3つの調和で、身体のバランスを整え全身の血液の流れを良くし気分を爽快にするといわれる「健美操」と簡単な筋トレ等(腕を伸ばしたり足を上げたり、全身の屈伸運動やスクワット・左右の手足を使っのコンビネーション運動等)で体を動かしていき、次に脳トレとして講師が指示した前・後・左・右とは逆の方向に動いたり、リズムフィットネス運動の中では2人1組でじゃんけんをしながらパートナーを変えていくなどのレクリエーション的な運動やメロディーに合わせて動くリズムフィットネス運動を行っていった。終わりに上履きを脱いでリラックスしてクールダウンのストレッチをして終了。基本的に3回とも同内容であったが、特に脳トレとリズムフィットネス運動は1回目よりは2回目・3回目と徐々にレベルを上げていったが、受講者は体の動きも慣れてきて無理なく気持ちよく体を動かすことができたと思う。 後期コースについては、受講者22名で10月20日から3回コースで実施する。				

●※創作講座「彩のある暮らし講座」

大人ものづくり教室～カカオウッドと天然石でプレスレットづくり

事業区分	大人対象事業				
ねらい	創作・工芸などの作品作りを通して作る喜びを体感しながら、手作りの作品で生活に彩りを添える。自然のものを使って創意工夫をしながら自分好みのプレスレットづくりをすることにより、想像力や発想力を養うとともに、併せて天然素材の良さを感じてもらうこと。				
対象	18歳以上の市民／定員15人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	10月22日(金) ※予定	天然素材のカカオウッドと天然石でオンリーワンのプレスレットをつくる。	枝道家・ウッドスタイリスト 葉本祈子	

●※創作講座「彩のある暮らし講座」

冬の苔玉教室～雪割草の苔玉づくり～

事業区分	大人対象事業				
ねらい	創作・工芸などの作品づくりを通して作る喜びを体感しながら、手づくりの作品で生活に彩りを添える。冬季事業として雪割草を使って苔玉をつくり、手入れの仕方を学び、身近にある苔に親しむとともに苔の魅力を知る。				
対象	市内在住・在勤の20歳以上の人／定員12人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月17日(金) ※予定	雪割草を使って苔玉づくりを体験する	奥田 利風	

●※手賀沼講座—自然と歴史—

事業区分	大人対象事業				
ねらい	当該地区が手賀沼や利根川といった水辺と深いかかわりの中で歴史を積み重ねてきた地域特性を踏まえ、「手賀沼」をキーワードとして地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解しふるさと意識を育みながら、これからのまちづくりについて考えてもらう機会をつくる。(手賀沼講座全体のねらい) 本年度の講座は、手賀沼とのかかわりを知るうえで手賀沼流域の自然環境や地質の特徴、浄化対策などを学び、自然環境の保全と共生などについて考える機会を提供する。 なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。				
対象	第3回は市内在住の小学生親子7組、それ以外は市民15人から20人程度				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月 (中止)	北千葉導水ビジターセンター見学会 (ねらい：北千葉導水ビジターセンターを見学し、北千葉導水事業などについて学ぶ) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	職員	
	2	8月 (中止)	手賀沼周辺の地質と化石～ナウマンゾウがいた頃～ (ねらい：ナウマンゾウやクジラも暮らしていた時代にも想いを馳せながら手賀沼周辺の大地の地質の特徴と手賀沼について学ぶ) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	千葉県立中央博物館地学研究科 伊左治氏	
	3	10月9日(土) ※予定	手賀沼流域の自然観察会～亀成川の自然環境を学ぼう～ (ねらい：手賀沼流域の亀成川を徒歩で自然観察会を実施し自然環境の保全や共生などについて考える)	NPO法人 亀成川を愛する会	
	4	11月20日(土) ※予定	手賀沼流域の自然環境～市環境白書から見る～ (ねらい：手賀沼流域の自然環境について市の環境白書からその特徴を学ぶとともに、手賀沼流域の現状を知り自然環境の保全や共生について考える)	環境保全課 職員 NPO法人 亀成川を愛する会	
	5	12月16日(木) ※予定	手賀沼探訪～手賀沼をもっと知ろう、手賀沼の野鳥・環境・星空～ (ねらい：我孫子市の鳥の博物館、水の館を見学し、野鳥、自然環境や浄化対策、星空について学び、自然環境の保全と共生などについて考える)	我孫子市鳥の博物館学芸員及手賀沼課職員	

2. 小林公民館

当初計画（令和3年3月公運審）	変更点等
子ども対象事業	
1. すごくよく飛ぶ紙ひこうきをつくろう	・講師体調不良のため中止
大人対象事業	
1. 小林カレッジ	・募集定員20名だが応募者全員23名を受講可とするとともに、緊急事態宣言に伴い一部開催日変更
2. 防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつくろう	
3. リンパセラピー講座 夏・秋コース	
4. ピラティス講座 夏・冬コース	
5. みんなでつくる！小林アンプラグドミニミニコンサート	・コロナ禍において地域で音楽活動を行う個人・団体が活動を自粛しているため中止

●すごくよく飛ぶ紙ひこうきをつくろう

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	すごくよく飛ぶ紙飛行機の作り方を学び、航空力学・科学に興味を持ってもらう。さらに、自分で作った紙飛行機がよく飛ぶという成功体験することで自信を持たせる。				
対象	小学生/定員20人 応募者20人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月21日（土）	紙飛行機（やり飛行機、せみ飛行機、いか飛行機）を作り、試験飛行を行いながらどうすればよりよく飛ばせるかの探求心を育む。		

※開催日1週間前に講師が体調不良のため中止

●小林カレッジ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	市民が健康で明るく豊かな生活を送るために、幅広い分野に目を向け、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの一助とする。				
対象	50歳以上/定員20人 応募者23人 受講者23人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月22日（土）	防犯：日常に潜む危険を回避しよう	高橋市民安全担当課長	21人
	2	6月26日（土）	健康：リンパマッサージをしよう	秋葉みどり	21人
	3	7月31日（土）	古典芸能：日舞を楽しく体験しよう	藤間流師範 渡邊俊子	19人
	4	10月9日（土） ※予定	歴史：江戸時代のアウトローと関八州	千葉県歴史資料館 児玉憲治	

	5	10月23日(土) ※予定	自然：自然散策をしよう	河邊久男	
	6	11月20日(土) ※予定	音楽：音楽の豊かさを感じる	山崎佑希子	
講座を終えて	幅広い分野から講座を編成し、参加者の学ぶ意欲や好奇心向上に努めることができた（前半を終えて）。				

●防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつくろう

事業区分	大人対象事業				
ねらい	台風や大雨による水害などこれから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりが家族構成や生活環境に合わせて、いつ、だれが、何をするのかを予め時系に列整理した自分自身の防災行動計画（マイ・タイムライン）を作成し、余裕をもって安全に避難するための知識を取得するとともに防災意識の向上を目指す。				
対象	市民/定員16人 応募者16人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月25日(水)	市のハザードマップを確認して各自「逃げマップ」を使用しマイ・タイムラインを検討する。	市防災課職員	16人
講座を終えて	市の洪水ハザードマップで浸水エリアに想定される利根川沿いにお住まいの方々が参加された。参加者は利根川構図浸水想定区域図（想定最大規模・浸水継続時間）に水害想定範囲が示されており、改めて自宅等に水害リスクがあることなどを認識していた。 台風や前線が発生してから川の水が氾濫するまでを知らずでは、時系列でとるべき行動を確認した。参加者は利根川側沿いにお住まいの方々と、近年の異常気象の多発から改めて避難行動を確認した。				

●リンパセラピー講座（夏コース・秋コース）

事業区分	大人対象事業				
ねらい	リンパの知識を学びながら、リンパマッサージ、ヨガストレッチ、呼吸体操を組み入れて健康な身体づくりを体験する。				
対象	20歳以上の女性/各回定員12人　夏コース応募者17人、秋コース応募者12人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	夏1	6月11日（金）	リンパマッサージ、ストレッチなどを取入れ リンパの流れの大切さを知る。	秋葉みどり	9人
	夏2	6月25日（金）			9人
	秋1	10月8日（金） ※予定	リンパマッサージ、ストレッチなどを取入れ リンパの流れの大切さを知る。	秋葉みどり	
	秋2	10月22日（金） ※予定			
講座を終えて	リンパの知識を学びながら、免疫力が上がる健康な身体づくりを体験した。（夏コースを終えて）				

●ピラティス講座（夏コース・冬コース）

事業区分	大人対象事業				
ねらい	胸式呼吸を用いながらストレッチを中心とした動きで、身体の筋肉をしなやかで丈夫に鍛える運動を体験し、健康的な身体づくりを目指す。				
対象	20歳以上の女性/各回定員15人 夏コース応募者21人、冬コース応募者16人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	夏1	7月3日（土）	心肺機能の向上と背骨の柔軟性を強化するためのエクササイズを行う。	土井さやか	15人
	夏2	7月17日（土）			14人
	冬1	1月15日（土） ※予定	心肺機能の向上と背骨の柔軟性を強化するためのエクササイズを行う。	土井さやか	
	冬2	1月29日（土） ※予定			
講座を終えて	ピラティスの呼吸法とインナーマッスルを鍛えながらバランスのとれた身体づくりを学んだ。（夏コースを終えて）				

●みんなでつくる！小林アンプラグドミニミニコンサート

事業区分	大人対象事業				
ねらい	小林公民館利用サークルのうち音楽関係サークルに対して、気軽に発表の機会を提供するとともに、地域で音楽活動をする個人や団体に対しても発表の機会を与え地域の交流を図る。				
対象	市民				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
		随時			

※コロナ禍で、地域で音楽活動する個人・団体が活動を自粛しているため中止

3. そうふけ公民館

令和3年度は大規模改修工事のため主催事業の実施はなし

4. 印旛公民館

当初計画（令和3年3月公運審）	変更点等
子ども対象事業	
1. 茶道教室	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
2. 親子カヌー教室	
3. 夏休み科学教室	
4. 夏休み工芸教室	
5. 冬休み書初教室	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 （対象は異なるが代替事業として「竹あかり教室」を実施予定）
6. 人形劇を楽しもう	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
おとな対象事業	
1. 癒しのアロマ	
2. 初心者のための絵手紙教室	
3. はじめてのyoga	
4. みんなのいけばな教室	
5. おとなの工芸教室	・実施時期を11月から10月に変更
	6. 竹あかり教室

●茶道教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である茶道を楽しむ事で、伝統文化への敬意と理解を深め、体験・習得の重要性を学ぶ。また、茶道の醍醐味を知ると共に、文化を学ぶことへの喜びを味わう。				
対象	印西市内在住の小学生/定員10人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月5日（土）	茶道の基本を学ぶ①	土井たみ子	
	2	6月12日（土）	茶道の基本を学ぶ②		
	3	6月19日（土）	茶道の基本を学ぶ③		

※コロナ禍において3密を避けることが難しく、飲食を通しての感染リスクが高いことから講師と協議し中止した。

●親子カヌー教室

事業区分	子ども対象事業
ねらい	印西市民の皆様にも最も身近な水辺である印旛沼の近くのプールで、親子でカヌーの操縦に挑戦する。午前は小学校1年生から3年生の親子・午後は小学校4年生から6年生の親子を対象に2部制で行い、親子で絆を深めつつ、自然と触れ合う大切さと喜びを味わう。
対象	印西市内在住の小学生の親子（午前の部は小学校1年生から3年生の親子、午後の部は小学校4年生から6年生の親子） 〔定員〕1回につき10組20人　〔参加者〕合計：21組41人

	回	実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	7月10日（土） ※午前の部	実際にカヌーに乗って操縦の方法を学び、自然と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。	ISJ カヌー同好会	12組24人
	2	7月10日（土） ※午後の部	実際にカヌーに乗って操縦の方法を学び、自然と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。		9組17人
講座を終えて	6月1日号の広報いんざいで募集を行った。運動に関する内容であったことから関心が大きく、数日で定員に達した。事業当日、講師であるISJ カヌー同好会の皆様によって、カヌーの操縦方法の説明から始まり、マンツーマンで補助しながら時計回り・反時計回りにと順番でプールを回りながらカヌーを漕いでいた。その後、プールサイドにスライダーを置き、子供たちがカヌーに乗り、大きな水しぶきをあげながらカヌーがプールに飛び込むその姿は壮観なものがあった。参加者の親子の皆様からは、カヌーに本格的に乗りたい、次回も子供とともに参加したいという感想が多く寄せられた。				

●夏休み科学教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	小学生の理科離れが叫ばれて久しい中、身近にある材料を使い、理科を楽しく学べる工作物を作り上げ、理科の面白さを再認識する。また、自分の手で工作物を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。				
対象	印西市内在住の小学校4年生から6年生/定員12人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月17日（土）	サンドピクチャーという材料を使って「地層」を作り、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、工作物を作り上げる喜びを味わう。	大久保尚紀 （日本大学理工学部教授）	12人
講座を終えて	6月15日号の広報いんざいで募集を行った。事業当日、材料等はあらかじめ机にセットして、講師の紹介とあいさつをして開始となった。講師が作り方を説明した後、三種類の砂の色を選び、液体を入れた。初めに思い切り振って中の砂を混ぜ、立てて水の色が透明になるまで静かに待つ。次にゆっくり逆さまにして砂の落ちる様子を観察する。次第に色が分かれ縞模様が出来上がったものをスケッチした。参加者の皆様からは面白かった、科学に関心を持ったという感想が多く寄せられた。				

●夏休み工芸教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	自分の手でオカリナ（土笛）や竹細工（竹かご）を作りあげることで、創意工夫を促し、豊かな感性を養い、ひとつの工芸作品を作り上げる喜びを味わう。				
対象	印西市内在住の小学校1年生から6年生 （小学校1年生から3年生の場合は工作の難易度が高いため親の付き添いを要する） 〔定員〕各部10人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月31日（土）	粘土を使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、	間野 政勝	11人

		(オカリナの部)	粘土を固めてオカリナの形を作り上げる。形が出来上がったら翌日まで1日置いて乾かす。		
	2	8月1日(日) (オカリナの部)	前日に作ったオカリナの原型に穴を開けて、穴の大きさで奏でられる音の高低を調整し、ひとつのオカリナを作り上げる。		11人
	3	8月7日(土) (竹細工の部)	約20本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることでひとつの竹かごを作り上げる。		11人
講座を終えて	7月1日号の広報いんざいで募集を行った。夏休みの宿題に関する内容であったことから関心が大きく、1日で定員に達した。オカリナの部では、吹き口(1日目)と指穴(2日目)を開けるのは、オカリナの音を出すため重要な工程で、大人に頼りたい子どもと、できるだけ自分で作らせたい保護者のやりとりが、見ていて微笑ましく感じられた。 竹細工の部では、竹を互い違いに編んでいく工程は、やや難しいようであった。竹には色で緑色と黄色の2種類があるが、前者を「青竹」、後者を「白竹」という。それぞれの竹の先を5本ずつ束ねて入れ込んでゆく工程は大人でも難しく、講師の方の手助けは不可欠であった。講師の説明が的確で、全員完成することができた。 1つ1つの工程が、(特に)低学年生には難しいように感じられたが、アンケートを見る限り参加者の皆様は充実した時間を過ごせたように感じられた。				

●冬休み書初教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である書道を通して、伝統文化に触れる重要性を学ぶとともに、心の平静と集中を高めて、ひとつの作品を完成させることの喜びを味わう。				
対象	印旛地区在住の小学校3～6年生/定員10名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月18日(土)	書道の練習、清書	徳久和歌子	

※コロナ禍で予定していた講師が活動を自粛しているため、相談の上、中止とした。

●人形劇を楽しもう

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	親子で人形劇を楽しみながら対話の場を提供し、感じたことを話しあいながら、優しさや思いやりなどの子どもの感受性を養う。				
対象	印西市内在住の未就学児の親子/定員10組20名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	2月	人形劇の鑑賞及び読み聞かせ	佐倉市おはなしキャラバン	

※コロナ禍で講師を依頼している団体が外部での活動を自粛しているため中止した

●癒しのアロマ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	アロマセラピーの基本を学びながら、自然の草花の香りを通して心と体の内面を安定させることの大切さを学ぶ。また、心の状態が体の健康に深く結びついていることへの理解を深める。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員 1 回につき 10 人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5 月 26 日（水）	アロマセラピーの基本を学びながら、講座の参加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、自分の内面を整えることを意識する。	前田 美紀	11 人
	2	12 月 23 日（水） ※予定	アロマセラピーの基本を学びながら、講座の参加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、自分の内面を整えることを意識する。	前田 美紀	
講座を終えて	第 1 回目については、5 月 1 日号の広報いんざいで募集を行った。健康や生活に関する内容であったことから関心が大きく、数日で定員に達した。第 1 回目は、アロマセラピーの説明から入り、植物の精油成分を安全に使い、心身の不調を和らげる方法を学んだ。その後、実際に精油を選んでオリジナルの作品を 2 個作った。参加者の皆様からは有意義であった、次回も参加したいという感想が多く寄せられた。				

●初心者のための絵手紙教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	絵手紙の描き方を学ぶと共に、自分が見たものを感情に素直に描き出す。教室の参加者同士の親睦を深める。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員 10 人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6 月 26 日（土）	この時期に見頃を迎える草花や身近なものを題材として、ありのままの美しさを描き出すとともに、絵手紙の基本的な描き方を学ぶ。	石原 修	9 人
	2	7 月 3 日（土）	前回に引き続き、この時期に見頃を迎える草花を題材として、ありのままを描き出し、絵手紙の基本的な描き方を学ぶ。	石原 修	9 人
講座を終えて	6 月 1 日号の広報いんざいで募集を行った。第 1 回目は、参加者の皆様はまず講師から絵手紙についての説明があり、その中でも重要な「線」の書き方から実践にうつった。線の濃淡や揺らぎなど、何度も練習を繰り返しても思うような線が描けず悪戦苦闘する様子が見られ、参加者の真剣な思いが伝わってきた。次に、講師が用意した「ナス」と「ドクダミ」をモデルにはがきに色を付ける。簡単だと思われた墨汁の薄め方や絵の具のにじませ方なども思った以上の量の水が必要で、なかなか色が薄まらなかった。 第 2 回目は、絵手紙に推す印章の作成を行った。苗字・名前のいずれか 1 字を、サイズに合わせてトレッシングペーパーにデザインし、それを消しゴムに写しカッターで掘るが、陰刻（文字だけ彫る）と陽刻（文字の周りを彫る）について説明があり、それぞれやりやすいほうを作成した。出来上がった印章を自分の絵手紙の作品に押して完成となった。参加者の皆様からは面白かった、今後も続けたいという感想が寄せられた。				

●はじめての yoga

事業区分	大人対象事業				
ねらい	ヨガ（yoga）の基本を学びながら、心と体の内面の安定を感じるとともに、メンタルバランスの重要性について学ぶ。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員15人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	9月28日（火）	ヨガの基本を学びながら、参加者同士親睦を深める。無理をせず、自分の内面と向き合う時間を意識する。	佐藤 洋子	14人
	2	10月5日（火） ※予定	前回の内容に引き続き基本的な動きを学ぶと共に、前回と同様に、無理をせず、落ち着いて行うことを意識する。	佐藤 洋子	
	3	10月12日（火） ※予定	これまでの講座と比較してやや難易度の高い姿勢に挑む。無理をせず、自分の内面と向き合い、心の安定を意識する。	佐藤 洋子	
	4	10月19日（火） ※予定	まとめとして、これまでの講座で学んできた姿勢を復習し、自分の内面とどれほど向き合えたかを考える。姿勢を作る際には、無理をせずに心の安定を意識してできたかを考えながら行う。	佐藤 洋子	
講座を終えて	9月1日号の広報いんざいで募集を行った。第1回目では、講師の方がポーズの最中も常にヨガ（yoga）に関する話をさせていただき、和やかな雰囲気が進められ、特に中断することもなかった。				

●みんなのいけばな教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である生け花を通して、礼儀や作法の向上を図るとともに、四季に思いを馳せて心に癒しを感じられるように理解を深める。また、お正月向けの草花を生けることにより、日本らしい新年の迎え方を見直す。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員1回につき20人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	10月16日（土） ※予定	秋に見頃を迎える草花を使い、自然のままの美しさを実際に目にする喜びを味わうと共に、ひとつの生け花の作品を作り上げる喜びを味わう。	池田美恵子	
	2	12月26日（日） ※予定	お正月に向けて華やかな草花を生けることで、年始を彩り豊かに楽しい気分でごすと共に、日本らしい新年の迎え方を味わう。	池田美恵子	

●おとなの工芸教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	自分の手で工作物（竹かご）を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員 10 人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	10月23日(土) ※予定	約 30 本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることで、ひとつの竹かごを作り上げる喜びを味わう。	間野 政勝	

※当初予定は 11 月上旬を計画したが講師と協議し、実施時期を 1 カ月繰り上げ 10 月に実施予定。

●竹あかり教室（冬休み書初教室の代替事業として実施予定）

事業区分	大人対象事業				
ねらい	竹林の整備で伐採した竹を有効活用して工作物（竹灯ろう）を創作する。年末に開催することで正月用の飾りにでき、使用後は竹炭にもできる。このことから、参加される皆様の創意工夫を促すだけでなく、自然資源を有効に活用することによって、良好な自然環境を維持することの重要性を学ぶ。				
対象	印西市内在住・在勤の人/定員 12 人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月18日(土) ※予定	1 本の竹を使い、竹の節を抜いて、表面に穴を開けて中に明かりを入れて竹灯籠を作りあげる。	小名木貴一	

5. 本埜公民館

当初計画（令和3年3月公運審）	変更点等
子ども対象事業	
1. 子ども和太鼓教室（低学年コース）	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
2. 子ども和太鼓教室（中高学年コース）	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
3. 子ども茶道教室	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
4. 子ども生け花教室	・回数、時期を見直して開催予定。
5. 書き初めひろば	
6. わくわくスポーツ教室	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
7. どきどき冒険隊	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
大人対象事業	
1. 防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつくろう	
2. 野鳥観察会	
3. 料理教室	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
共催事業	
1. ふるさと再発見	
2. わら細工講座	

●子ども和太鼓教室（低学年コース）

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	小学校1・2年生／定員12名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月24日（土）	太鼓で遊ぶ、リズムに合わせ身体を動かす		

※回数や実施月を見直し、実施を検討していたが、感染者数が増えていた時期で、講師からの希望もあり相談の上、中止とした。

●子ども和太鼓教室（中・高学年コース）

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	小学校3～6年生／定員18名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月7日（土）	太鼓の名称、基礎打ちの練習		
	2	8月14日（土）	基本的な動作、基礎打ち、演奏曲の発表		
	3	8月21日（土）	基礎打ち、リズムに合わせて体を動かす		

	4	9月11日（土）	基礎打ち、色々なリズムで打つ		
	5	9月18日（土）	基礎打ち、演奏曲の練習		
	6	9月25日（土）	基礎打ち、演奏曲の練習		
	7	10月2日（土）	基礎打ち、演奏曲の練習		
	8	10月9日（土）	基礎打ち、パート別、動作など披露に向けた練習		
	9	10月16日（土）	演奏曲の披露		

※回数や実施月を見直し、実施を検討していたが、感染者数が増えていた時期で、講師からの希望もあり相談の上、中止とした。

●子ども茶道教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である茶道を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	小学校1～6年生／定員10名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月	表千家の基本的作法		
	2	9月	表千家の基本的作法、お点前の練習「立礼式」		
	3	9月	表千家の作法 ふくさ捌き		
	4	10月	表千家の作法 お点前の練習		
	5	10月	発表会に向けたお点前の練習		
	6	10月	お点前の披露		

※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として館内での飲食を禁止している中で、飲食を伴う内容での実施は難しいことから講師と相談の上、中止とした。

●子ども生け花教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	小学校1～6年生／定員10名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	10月9日（土）	生け花の基本を学びながら表現力を養う	菊地 愛子	6人
	2	11月20日（土）	生け花の基本を学びながら表現力を養う	菊地 愛子	6人

※区域内の小学校にチラシを配布して、当初9～10月の2回開催で募集したが、9月は緊急事態宣言が発令されていたため、実施日を見直し開催する予定。

●書き初めひろば

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	小学校１～６年生／定員１０名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月19日（日） ※予定	冬休みの宿題として出された課題の練習	小林 みどり	

●わくわくスポーツ教室

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	楽しく遊びながら運動能力等を伸ばせるコーディネーショントレーニングを実施。適応力や柔軟な考え方の育成につながり、発達が著しい時期に運動技能や能力を伸ばす。				
対象	小学校１～６年生／定員２５名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月	小学生のためのコーディネーショントレーニング①		
	2	8月	小学生のためのコーディネーショントレーニング②		
	3	8月	小学生のためのコーディネーショントレーニング③		
	4	10月	小学生のためのコーディネーショントレーニング④		
	5	1月	小学生のためのコーディネーショントレーニング⑤		
	6	1月	小学生のためのコーディネーショントレーニング⑥		

※回数や実施月を見直し、実施を検討したが、講師である学生の校外での活動制限もあったため、相談の上、中止とした。

●どきどき冒険隊

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	家庭・学校以外の社会で大人と接し、学区・学年を超えた集団による共通体験を通し、自主性・協調性を学び友情と考える心を育む				
対象	小学校４～６年生／定員２０名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月	オリエンテーション、レクリエーション		
	2	7月	館外活動		
	3	8月	料理体験		
	4	10月	工場見学		
	5	11月	館外活動		
	6	12月	ものづくり体験		
	7	1月	館外活動		
	8	2月	レクリエーション		

※回数や開始時期及び内容を見直し、実施を検討したが、コロナ禍での学校の運営指針を加味すると、ねらいにある学区・学年を超えた館外活動等は難しいと判断し、中止とした。

●防災講座「わが家のマイ・タイムライン」をつくろう

事業区分	大人対象事業				
ねらい	台風や大雨による水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、家族構成や生活環境にあわせて、いつ、だれが、何をするのかを予め時系列的に整理した自分自身の防災行動計画（マイ・タイムライン）を作成し、余裕をもって避難するための知識を習得するとともに、防災意識の向上を図る。令和３年度は利根川沿岸を対象区域に抱える中央・小林・本埜公民館で実施する。				
対象	市民一般／定員１６人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	１	７月１４日（水）	「マイ・タイムラインづくり」	防災課職員	１１人
講座を終えて	市のハザードマップや、利根川構図浸水想定区域図等を使用し、自宅はどれくらいの浸水が予想されるかを各自確認した。それを踏まえてマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を活用し、水害が想定された際に、いつから、どのように行動した方がいいかを検討した。また、講義終了後の質疑応答の中で、避難所開設や防災倉庫の状況、道路が冠水した時の情報確認手段等、参加者から様々な質問があげられ、災害に対する意識の高さを感じた。				

●野鳥観察会

事業区分	大人対象事業				
ねらい	本埜地域に見られる野鳥を多くの市民に紹介していき、自然環境の保護・保全への関心や理解を深める機会を提供する。				
対象	市民／定員２０名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	１	１１月２７日（土） ※予定	本埜地区内の白鳥飛来地周辺を散策	河邊 久男	

●料理教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	美味しく健康になれる料理を学び、健康増進への意識を高める。				
対象	２０歳以上の市民／定員１２名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	１	７月	美味しく体に良い料理を学ぶ		
	２	１１月	美味しく体に良い料理を学ぶ		
	３	１２月	美味しく体に良い料理を学ぶ		

※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として館内での飲食を禁止している中で、飲食を伴う内容での実施は難しい

ことから講師と相談の上、中止とした。

●ふるさと再発見

事業区分	共催事業				
ねらい	本埜地域に残されている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介していく。身近な動植物と触れ合い、自然環境への関心や理解を深める機会を提供するとともに環境保全意識の向上に寄与する。				
対象	小学生と保護者／定員20名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月3日（土） （中止）	蝶とトンボの観察会 天候不良により中止	里山の会 E COMO	
	2	7月10日（土） （中止）	ホタル観察会 天候不良により中止		
	3	11月6日（土） ※予定	秋の自然観察会		
講座を終えて	蝶とトンボの観察会、ホタル観察会は募集を行い実施予定だったが、両日とも天候不良により中止となった。秋の自然観察会は、10月1日号の広報いんざい及び区域内の小学校にチラシを配布して、参加者を募集し実施する予定。				

●わら細工講座

事業区分	共催事業				
ねらい	わら細工により伝統的風習の意味や慣わしなどに触れて、物づくりの喜びを感じてもらう。				
対象	20歳以上の市民／定員12名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月11日（土） ※予定	正月飾りをつくろう	里山の会 E COMO	

6. 中央駅前地域交流館

当初計画（令和3年3月公運審）	変更点等
子ども対象事業	
1. わくわく探検隊	事業内容の見直し
2. 科学あそび	
3. 自然体験ツアー	中止
《子育て支援事業》	
4. 親子であそぼう	
5. 季節のおもちゃ箱	
6. お誕生児集まれ	
7. おさんぽに行こう	
8. 公園であそぼう	
《児童健全育成事業》	
9. にこにこハッピー	
10. すこやかキッズ	
11. ゆうぎ室であそぼう	回数を月1回から2回（8月を除く）に変更
12. 児童ルームであそぼう	定員を15人から20人に変更
13. あそびのポケット&スペシャル	
14. レクホールであそぼう	
15. 書き初め広場	
大人対象事業	
1. はつらつクラブ	事業内容の見直し
2. 料理講座	中止
3. 印西新発見バスツアー	定員を15人から10人に変更
4. 体験講座「苔玉づくり」	定員を15人から12人に変更 「しめ縄づくり」（定員10人）を追加
《子育て支援事業》	
5. 親子講座	事業を「ベビーマッサージ」、「ベビードダンス」、「親子エクササイズ」に分割
6. 母親講座	「歯みがき教室」を追加
7. 育児相談	
《高齢者福祉事業》	
8. 憩の家開放事業	
共催事業	
1. ものづくり講座（印西おもちゃの病院との共催事業）	

●わくわく探検隊

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	学区、学年を超えて友情の輪を広げ、一緒に体験することにより、自立性・自主性・協調性を学び、考える心を育む。				
対象	小学校4～6年生/定員15名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月29日(土)	開講式、オリエンテーション	職員	15人
	2	7月10日(土)	レクリエーション「ドラムピース」	生涯学習課職員	11人
	3	8月21日(土)	ものづくり体験「アロマバスボム作り」	小作真佐美	12人
	4	10月2日(土)	デイキャンプ(台風により中止)	生涯学習課職員	
	5	11月6日(土) ※予定	ニュースポーツ体験「パークゴルフ」	職員	
	6	12月4日(土) ※予定	活動記念作成、閉校式	//	
講座を終えて	※9月末までの状況 新型コロナウイルス対策により、宿泊研修を中止するなど事業内容を見直した。普段、家庭や学校で体験できないことを行うことで、思い出作りにもなっている。また、他学区、他学年の児童同士による活動で協調性を養うこともできている。10/2のデイキャンプについては台風16号の影響を考慮し、事前に中止決定を行った。				

●科学あそび

事業区分	子ども対象事業				
ねらい	子どもたちに身近な科学の楽しさや関心を持ってもらうため、実験や工作を行い、夏休みの自由研究のヒントにもつなげられるようにする。				
対象	小学校4～6年生/定員15名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月18日(水)	ビニールの傘袋を使ってロケットを作ろう	千葉市科学館職員	14人
講座を終えて	千葉市科学館の職員を講師に迎えて実施した。傘袋に空気を入れる際、上手く入らずすぐに抜けてしまったが、講師からさっと空気が入る方法を教えてもらい、上手に空気を入れることができた。 ロケット本体に、空気抵抗用の羽や重りを付ける際もバランスをとることなどの指導を受け、熱心に作成し完成させていた。最後に上手く飛ばすことができるか、誰が一番飛ばせるかを競った。広いレクリエーションホールで実施したため、子どもたちは、身体を動かしながら科学の楽しさを実感していた。				

●親子であそぼう

事業区分	子ども対象(子育て支援)事業				
ねらい	親子で遊べる場を提供し、子どもと親の健やかな育ちを支援していく。子育てに関する情報交換の場、親子共に友達づくりの場とする。				

対象	乳幼児と保護者/定員各時間枠8組 ①10:00~11:30 ②13:00~14:30 ③15:00~16:30				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
		通年	子育てルーム事業 たけのこタイム（身体測定）、親子ふれあい遊び、絵本読み聞かせ、中庭開放（7~9月は休止）	職員	延 2,897 人
講座を終えて	※9月末までの状況 ①の時間枠（午前中）の利用が多かった。たけのこタイムは毎月、歌や手遊びを変えて行ったことで、これを楽しみに来館する親子もいて、喜んで参加してくれていた。				

●季節のおもちゃ箱

事業区分	子ども対象（子育て支援）事業				
ねらい	季節の行事や伝承行事をテーマに、制作あそびやダンス、おはなしなどを地域の親子と一緒に楽しみ季節を感じる。				
対象	乳幼児と保護者/定員8組~20組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	4月15日（木）	こどもの日	職員	17人
	2	5月18日（火）	いちごであそぼう	〃	14人
	3	6月11日（金）	雨ふりを楽しもう	〃	15人
	4	7月2日（金）	七夕	〃	18人
	5	8月18日（水）	夏のあそびを楽しもう	〃	15人
	6	9月15日（水）	敬老の日のカード作り	〃	17人
		各月1回	（予定）	〃	
講座を終えて	※9月末までの状況 人気の事業ですぐに定員に達してしまう状況であった。季節を感じられる内容のため、何度も参加する親子もいた。				

●お誕生児集まれ

事業区分	子ども対象（子育て支援）事業				
ねらい	その月の誕生日児を祝い、アトラクションを見たり記念写真を撮ったりして過ごしながらか成長を喜び合う。				
対象	その月の誕生日児とその保護者/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	全12	毎月1回	誕生児紹介、アトラクション、記念撮影等	職員	86人
講座を終えて	※9月末までの状況 人気の事業ですぐに定員に達してしまう状況であった。子どもの成長を喜び合うことができている。				

●おさんぽに行こう

事業区分	子ども対象（子育て支援）事業				
ねらい	季節の変化や身近な自然に触れながら、親子や地域の友達と一緒に楽しいひと時を過ごす。				
対象	乳幼児と保護者/定員15組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	10月19日（火） ※予定	秋のおさんぽ	職員	
	2	3月15日（火） ※予定	春のおさんぽ	〃	

●公園であそぼう

事業区分	子ども対象（子育て支援）事業				
ねらい	近隣の公園に出向き、野外で親子で楽しめる遊び（リズム遊びや運動遊び、お話シアター、簡単工作等）を提供し、親子で楽しむ。在宅親子に対して「子育てルーム」の存在や機能を知らせていき、行ってみようとするきっかけづくりとし、親しみを持ってもらう。				
対象	乳幼児と保護者				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	4月21日（水）	スタンプラリー	職員	53人
	2	5月20日（木）	ミニ運動会	〃	37人
	3	11月5日（金） ※予定		〃	
講座を終えて	※9月末までの状況 第1回、第2回とも天候に恵まれ、多くの参加があった（現地集合・解散の自由参加）。花の丘公園で親子ともに楽しむことができ、「子育てルーム」の存在や機能についても周知することができた。				

●にこにこハッピー

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単製作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同年齢の親子が関わり、友達づくりや保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。				
対象	1歳児と保護者/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月23日（水）	タオルあそび	職員	15人
	2	10月15日（金） ※予定	運動あそび	〃	
	3	12月17日（金） ※予定	リズムあそび	〃	
	4	3月9日（水）	おかいものごっこ	〃	

		※予定			
講座を終えて	※9 月末までの状況 身近なタオルを使っのあそびで、親子で楽しむ姿が見られた。				

●すこやかキッズ

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単製作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同年齢の親子が関わり、友達づくりや保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。				
対象	2歳児と保護者/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月16日（水）	タオルあそび	職員	13人
	2	10月7日（木） ※予定	運動あそび	〃	
	3	12月16日（木） ※予定	リズムあそび	〃	
	4	3月9日（水） ※予定	おかいものごっこ	〃	
講座を終えて	※9 月末までの状況 身近なタオルを使っのあそびで、親子で楽しむ姿が見られた。				

●ゆうぎ室であそぼう

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	体を動かして遊べるよう、親子でのびのびと過ごせる場を提供する。				
対象	乳幼児と保護者/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	全22	毎月2回 （8月を除く）	乗用玩具、すべり台、トンネル、ボールなどを使い身体を動かして遊ぶ。	職員	137人
講座を終えて	※9 月末までの状況 「子育てルーム」とは違った身体を動かしたあそびができるため、人気のある事業となっている。				

●児童ルームであそぼう

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	子どもが安心できる遊び場、学習の場を提供する。他学区・他学年の子ども同士が交流できる場を提供して、友達づくりのきっかけをつくる。様々な遊びに自発的に取り組めるよう支援する。				
対象	小学生～18歳未満/定員各時間枠20名 ①9：00～11：30 ②13：00～16：30				

プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
		通年	児童ルーム、学習コーナー、図書コーナーの開放	職員	延 1,275 人
講座を終えて	※9 月末までの状況 一人でも楽しめるゲームや机上あそびを取り入れるなど、様々な遊びを提供していく中で、子どもたちは工夫して遊びを発展させ楽しんでいる。				

●あそびのポケット&スペシャル

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	簡単な工作や手芸、実験遊びを行い、交流館を知るきっかけをつくる。簡単で身近な素材を使って、家庭ではあまり経験のできないことを体験しながら、他学区・他学年の子どもたちとの交流も楽しむ。				
対象	小・中学生/定員8～10名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月22日（土）	【スペシャル】バスボム作り	小作真佐美	9人
	2	6月12日（土）	メッセージボード作り	職員	11人
	3	7月17日（土）	シースルーうちわ作り	〃	9人
	4	8月4日（水）	【スペシャル】ドラムサークル	生涯学習課職員	11人
	5	10月16日（土） ※予定	万華鏡作り	職員	
	6	11月20日（土） ※予定	【スペシャル】運動あそび	保育課職員	
	7	12月11日（土） ※予定	【スペシャル】スクラップブック	小池こず恵	
	8	2月12日（土） ※予定	絵手紙	職員	
講座を終えて	※9月末までの状況 毎回「たけのこ」（中央駅前地域交流館の子育てルーム・児童ルームだより）において募集を行っているが、小学生への周知が難しい状況である。身近な素材を使った工作や普段体験できないドラムサークルを行う中で、子どもたちの交流が図られているので、今後より多くの児童が参加できるよう周知方法を工夫したい。				

●レクホールであそぼう

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	レクホールでバドミントン、ポールなどの遊具を提供し、安全な環境で思い切り体を動かせる場を提供する。運動あそびを通し、他学区・他学年との交流を図る。				
対象	小・中学生/定員25名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	全10	毎月1回	みんなで体を動かして楽しもう	職員	18人

		(9月11月を除く)			
講座を終えて	※9月末までの状況 毎月「たけのこ」で周知を図っているが、緊急事態宣言発令中であつたことなどから利用者は少なかった。安全な環境の中で、思い切り体を動かせる運動あそびを行っている。				

●書き初め広場

事業区分	子ども対象（児童健全育成）事業				
ねらい	冬休みの課題である書初めを講師指導のもと書きあげる。書道に対する関心を深めるとともに、他学区・他学年の子と一緒に交流を深めていく場を提供する。				
対象	小・中学生/定員16名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月25日（土） ※予定	書き初め	蟹江晶子	

●はつらっクラブ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	運動、自然観察、歴史探索など様々な体験を通して、心と体で楽しくふれあい、生きがいづくり、仲間づくりのきっかけにする。				
対象	20歳以上/定員15名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月24日（木）	開講式、アロマジェルポット作り	小作真佐美	14人
	2	7月15日（木）	印旛歴史民俗資料館見学	資料館職員	14人
	3	9月16日（木）	健康体操	高齢者福祉課職員	13人
	4	10月28日（木） ※予定	防災の備え〔食事編〕	健康増進課職員	
	5	11月18日（木） ※予定	陶芸体験	陶芸1班	
	6	1月20日（木） ※予定	印西観光インフォメーション	商工観光課職員	
講座を終えて	※9月末までの状況 新型コロナウイルス対策により、事業内容を見直すこととなったが、遠方への館外学習や飲食を伴う講座ができないなど、事業選択に苦慮した。普段の生活でなかなか体験できないことを行うことで、生きがいづくりにつながっている。				

●印西新発見バスツアー

事業区分	大人対象事業				
ねらい	市内の旧跡等を見学し、自分たちのまちで新たな発見や歴史を学び、ふるさと印西を見つめてもらう。印西の良さを新たに実感することを目的とする。				
対象	20歳以上/定員10名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	9月29日(水)	松虫寺・印旛沼公園	松虫寺住職 生涯学習課職員	10人
講座を終えて	緊急事態宣言中での実施となったため、定員を減らすなど感染症対策を徹底した。松虫寺では、住職による松村寺伝説や、33年毎に開帳する木造薬師如来像などの話に真剣に耳を傾けていた。印旛沼公園では、師戸城跡の公園を現在の地図と中世の概略図を見比べながら城の役割等についての説明を受けた。参加者からは「印西にはこんないいところがあったのか」と市の魅力の発見につながり好評であった。				

●体験講座「苔玉づくり」・「しめ縄づくり」

事業区分	大人対象事業				
ねらい	室内で楽しめる苔玉をつくり、身近にある植物に親しむとともに苔の魅力を知る。また、わらにより正月飾りを作りながら、伝統的風習の意味や慣わしなどに触れる。				
対象	20歳以上/定員12名(苔玉)、10名(しめ縄)				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	11月26日(金) ※予定	しめ縄づくり	豊田光信	
	2	1月27日(木) ※予定	苔玉づくり	奥田利風	

●ベビーマッサージ

事業区分	大人対象(子育て支援)事業				
ねらい	低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。				
対象	3か月～10か月の乳児を持つ保護者とその子/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	4月20日(火)	ベビーマッサージ	安藤敬子	12人
	2	6月22日(火)	ベビーマッサージ	〃	17人
	3	9月28日(火)	ベビーマッサージ	〃	10人
	4	11月13日(土) ※予定	パパのベビーマッサージ	〃	
	5	1月18日(火) ※予定	ベビーマッサージ	〃	

	6	2月15日（火） ※予定	ベビーマッサージ	〃	
講座を終えて	※9月末までの状況 マッサージに反応し気持ち良さを感じて眠ってしまう子も多く、マッサージを行っている母親もうれしそうであった。子育て相談では、みんなで共感しあえるものも多く、有意義な内容となっている。				

●ベビーダンス

事業区分	大人対象（子育て支援）事業				
ねらい	低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。				
対象	3か月～1歳の乳児を持つ保護者とその子/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月9日（水）	ベビーダンス	柳由美子	12人
	2	1月26日（水） ※予定	ベビーダンス	〃	
講座を終えて	※9月末までの状況 子どもを抱いてスキンシップを図りながらリズムカルに踊ることにより、運動不足解消やリフレッシュすることができ、子どもも気持ちよさそうだった。腰の高い位置での抱っこの仕方を教えてもらい、参加者からは「楽になった」と好評であった。				

●親子エクササイズ

事業区分	大人対象（子育て支援）事業				
ねらい	低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。				
対象	1～2歳未満の乳児を持つ保護者とその子/定員8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月25日（金）	親子エクササイズ	土井さやか	8人
	2	10月22日（金） ※予定	親子エクササイズ	〃	
	3	12月10日（金） ※予定	親子エクササイズ	〃	
講座を終えて	※9月末までの状況 ストレッチをすることで身体をほぐすことができ、参加者からは「とても楽しかった。毎月開催してほしい。」などの声があり、とても好評であった。				

●母親講座

事業区分	大人対象（子育て支援）事業				
ねらい	趣味的な講座でリフレッシュしたり、子育て講座で子育ての知識を得たり悩みを共有したりする中で、子育てを楽しめるようにしていく。				
対象	未就学児とその保護者/定員5～8組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	4月16日（金）	アロママスクスプレー	小作真佐美	4人
	2	7月14日（水）	子どもの健康管理	保育園職員	14人
	3	8月25日（水）	歯みがき教室	健康増進課職員	12人
	4	9月29日（水）	スクラップブック	小池こず恵	15人
	5	12月2日（木） ※予定	ロゼットづくり	佐藤公子	
	6	1月14日（金） ※予定	離乳食講座	保育課職員	
講座を終えて	※9月末までの状況 「子どもの健康管理」では、参加者全員が積極的に質問し、悩みを共有しながら対応策を知ることができた。「歯みがき教室」では、歯に関する情報も多く興味深い内容で、具体的なアドバイスをもらうこともでき好評であった。「アロママスクスプレー」、「スクラップブック」は母親のリフレッシュにつながった。				

●育児相談

事業区分	大人対象（子育て支援）事業				
ねらい	子育てルームに来館した親子の子育て・育児に関する相談体制を整え、安心して発達状況や健康面の相談ができるようにする。また、家庭や母親の情緒面に支援が必要と判断した場合には、各関係機関と連携、協力を図り、支援の輪を広げていく。				
対象	未就学児を持つ保護者				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
		通年	子育ての悩みや育児についての相談	職員	7件
	全12	毎月1回	子育てコンシェルジュによる移動相談	子育てコンシェルジュ	41件
講座を終えて	※9月末までの状況 子育てルームの各事業内において、気軽に相談できる雰囲気を作り、相談を受けている。月1回の子育てコンシェルジュによる相談も行っているが、保育園の入園についての相談が多い状況となっている。				

●憩いの家開放事業

事業区分	大人対象（高齢者福祉）事業				
ねらい	カラオケや高齢者クラブの会合など高齢者の憩いの場やレクリエーションの場として提供することで、				

	生きがいづくり、仲間づくりのきっかけにする。				
対象	60 歳以上				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
		通年	憩いの家の開放	—	延 365 人
講座を終えて	※9月末までの状況 高齢者のレクリエーションの場として、憩いの家のカラオケ設備を開放している。利用者には、感染症防止対策の徹底にご協力をいただいている。なお、緊急事態宣言発令中は、カラオケ設備の利用を中止した				

●ものづくり講座（印西おもちゃの病院と共催）

事業区分	共催事業				
ねらい	子どもたちのものづくり活動を通して、アイデアを具体化する技術能力や創造性を育む。				
対象	小学校4～6年生/定員13名				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月2日（日）	開講式 工作の基礎を学ぼう、各種工具の使い方 「紙コプター」	印西おもちゃの病院	13 人
	2	6月6日（日）	「手づくりモーター」	//	12 人
	3	7月4日（日）	発電の仕組み「手まわし発電機」	//	12 人
	4	8月1日（日）	モーターを使った工作「気まぐれアシカの輪投げゲーム」	//	9 人
	5	9月5日（日）	磁石を使ったからくり工作「ゆらゆら UFO を作ろう」	//	10 人
	6	10月3日（日）	モーターを使った工作「プロペラカーを作ろう」	//	10 人
	7	11月7日（日） ※予定	「プロペラ飛行機」	//	
	8	12月5日（日） ※予定	「ゲルマニウムラジオ」	//	
	9	1月9日（日） ※予定	「子供用折りたたみ椅子」	//	
	10	2月6日（日） ※予定	「簡単な工作」年間に作成した作品展示 修了式	//	
講座を終えて	※9月末までの状況 子どもたちは熱心に取り組んでおり好評である。当日参加できなかった子どもについては、次回までの間に補講を行うことで、進捗状況に差が出ないように対応していただいている。年間を通して技術能力や創造性の向上が期待できる。				

《団体育成事業》

各公民館等においては、利用サークル等が自主的かつ円滑な学習が行えるよう指導及び支援を行っているが、昨年からのコロナ禍にあり、8月には緊急事態宣言が発令されたこと等、サークル活動への影響は未だに続いている。そのようなことから、毎年、各公民館等利用サークル連合組織が主体となって開催していた「まつり」についても、昨年度と同様にすべて中止となった。

また、令和3年5月から、そうふけ公民館の大規模改修工事が着工され、当公民館で活動していたサークルに対しては、他の公民館等を利用するよう指導及び支援を行った。

●工事期間中のそうふけ公民館利用サークル協議会加盟団体の活動状況

- ・中央公民館…7 団体
- ・小林公民館…4 団体
- ・印旛公民館…1 団体
- ・本埜公民館…1 団体
- ・中央駅前地域交流館…3 団体
- ・その他…4 団体

●令和3年度各公民館等利用サークル連合組織状況（9月末日現在）

- ・中央公民館利用サークル懇談会…30 団体
- ・小林コミュニティサークル連絡協議会…18 団体
- ・そうふけ公民館利用サークル協議会…20 団体
- ・印旛公民館利用サークル協議会…15 団体
- ・本埜公民館利用サークル協議会…20 団体
- ・中央駅前地域交流館利用団体懇話会…35 団体

《個人学習支援事業》

市民の個人学習の推進を図るため、中央公民館、印旛公民館及び中央駅前地域交流館では常設の学習室を設置するとともに、他の公民館では事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行った。なお、令和3年度上半期の利用者数は次のとおりとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
中央	42	51	64	81	75	51	364
小林	44	29	38	34	47	32	224
そうふけ	57	0	0	0	0	0	57
印旛	0	0	0	0	0	2	2
本埜	0	2	1	6	4	4	17
駅前	41	65	69	55	117	80	427
計	184	147	172	176	243	169	1,091

《貸館事業》

市民、地域団体及び利用サークル等に、社会教育、生涯学習、会議及び交流の場を提供し、公民館及び交流館を学習拠点及び交流拠点として活用いただき、地域コミュニティの醸成、社会教育・生涯学習の推進に努めていく。令和３年度上半期の公民館等利用者数は次のとおりとなる。なお、主催事業参加者及び個人学習室利用者もすべてカウントしたものとなる。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
中央	1,301	1,565	2,125	2,256	968	1,169	9,384
小林	1,377	1,430	1,419	2,224	622	2,244	9,316
そうふけ	1,619	0	0	00	0	0	1,619
印旛	281	310	354	752	159	487	2,343
本埜	1,833	761	1,154	1,014	934	877	6,573
駅前	4,068	3,767	5,512	3,950	3,256	3,986	24,539
計	10,479	7,833	10,564	10,196	5,939	8,763	53,774

また、参考として令和３年度上半期分の施設使用状況を利用率によって算出した。利用率の算出方法は、１日を午前・午後・夜間（開館日のみ）の３コマでカウントして算出したものとなる。

	時間帯（午前・午後・夜間）コマ数による利用率			夜間開館 曜日	稼働時間 帯数	貸館 部屋数
	使用コマ数	総コマ数	利用率			
中央	1,264	3,839	32. 9%	水・土	349	11
小林	950	2,443	38. 9%	水・土	349	7
そうふけ	173	464	37. 3%	水・土	58	8
印旛	340	2,776	12. 2%	木・金	347	8
本埜	974	4,152	23. 5%	火・木	346	8
駅前	2,065	4,188	49. 3%	水・土	349	12
計	5,766	17,862	32. 3%	—	—	—